

松陵

秋田県立能代高等学校

同窓会事務局

〒016-0184 能代市高崎2-1

能代高等学校内

TEL 0185-54-2230

FAX 0185-54-2231

題字は前会長神馬恒成氏

印刷所 榎大潟印刷



同窓会長 田中 仁 純

(第二十五期)

同窓会員の皆様へ

同窓会会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。さて去る九月十九日、定時総会が開催されました。今年は永年親しんだ「金勇」からプラザ都に会場を移して行われました。県文化財の指定を受けている「金勇」が八月いっぱい閉業したことによりです。能代市民として淋しい限りであります。齊藤能代市長の挨拶もあり、盛会のうちに終了出来ました。

同窓会は昨年から学校への依存を軽減して自主運営を旨として歩んでいます。多くの問題解決と基盤充実に努力するようにとの再任であったと考えています。諸問題の一点に会報「松陵」があります。「松陵」は今年で二十号の発行となりました。同窓生を結びつける存在であります。「松陵」を発行するにあたり、決算書にもありますように約二百万円程の費用が掛かります。発行部数は一万四千部であります。これには企画・編集等の人件費は含まれていません。この「松陵」発行の財源は皆様からの会費があられます。

す。会費の集まりはここ数年二百万円を上下している現状です。従って他の事業展開が困難をきたしているわけです。今後この状態が続けば経済情勢の推移によつては発行も危ぶまれることが心配されます。自分達が巣立った母校の情報や同窓生の消息など、わずかな年一回の発行ではあります。が、「松陵」の灯は消したくないものであります。「方向転換」か「継続」か選択にせ



今、学校では

校長 山本 達 行

同窓会の皆様には、平素より格別なるご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。おかげさまで、時代の変化に伴う様々な課題を抱えつつも、校是「文武両道」のもと、着実に前進しているものと確信しています。甲子園を逃し、同窓生に寂しい思いをさせたことは事実ですが、様々な部活動の頑張りや過去最高になった今春の進学実績に、能代高校生のポテンシャルの高さを感じています。「両立」の古くて新しい課題に立ち向かわせながら、自主性を尊重した運動部の活性化を図っていきたく

思います。今、学校は文字通りの勉学の秋、実りの秋を迎えています。生徒の姿勢も顔つきも、3年生を筆頭に勉強モードになってきました。自分の目標を掴んだ生徒の頑張りには目を見張るものがあり、その成果に期待しています。さて、昨年度から始めた「ウィル・プロジェクト」も2年目を迎えました。生徒は、「聴く・調べる・体験する・表現する」活動をとおして、自分の夢や適性、社会生活で必要とされる価値観などについて学び、人間としての成長を見せ始めています。

います。今年度は、プロジェクトのもう一つの柱である「学習指導の改善」に重点的に取り組んでいます。授業については、検討段階から試行へと移りました。これから、成果とともに様々な問題点も明らかになると思いますが、能代高校方式といった指導法を確立していきたいと考えています。混迷を深める社会世相の中で、学校本来のあり方と生徒・地域のニーズを考えながら、新たな教育の創造に挑戦していくつもりです。変わらぬご支援とご協力をお願いします。

平成21年 能代高等学校同窓会 新年祝賀会のご案内

◎日時 平成二十一年一月二十三日(金)
講演会 午後五時三十分
講師 袴田 忠夫氏(38期三菱電機 電子事業部顧問)
演題 日本人としての誇り
――日本近代史の一考察――

◎会場 能代キャッスルホテル平安閣(能代市元町)
電話 (〇一八五) 五五一一二二

◎会費 四、〇〇〇円(当日持参)
※当番幹事は三十八期・四十八期です。参加申し込みは各期幹事または同窓会事務局へ連絡してください。

同窓会事務局 電話 (〇一八五) 五五二二三〇
(能代高校内) FAX (〇一八五) 五四一二三三一

まられているところです。皆様の英知と協力を切に願います。混迷する時代です。皆様にはご健康で過ごされま

恩師探訪

能代高校で教鞭をとられた先生方に当時の思い出を綴っていただく「恩師探訪」のコーナー。今回は、文字通り恩師宅を訪問し、お話を聞きました。
(同窓会広報担当・小林)

軟式野球の思い出

小玉 徳 征 先生
(三十期)



本屋徳小玉先生に日を見る。後ろに雄島が海を思ひ出せる。10月16日、徳征先生

小玉徳征先生は昭和三十九年度に教員となり、最初は能代工業高校に勤務、昭和四十八年に本校へ転勤となった。翌四十九年秋に高埕の新校舎に移転。

この年軟式野球部は加賀正隆部長、久保田豪監督で奥羽大会に初出場初優勝。部創立26年目で全国大会(当時は藤井寺球場)に出場しベスト8。国体でも3位の成績を残した。小玉先生が監督に就任したのは昭和五十二年。その年は奥羽大会に出場したものの1回戦敗退。翌年は奥羽大会で準決勝進出。昭和五十四年、監督三年目にして全国大会準

優勝。決勝戦の相手は静岡商だった。延長13回で敗れたが、全国大会で延長戦になったのは7度あったが、延長で敗れたのはこの時だけだった。

静岡商との対戦は翌年も続いた。栃木国体の決勝戦で再び対戦。今度は日没再試合寸前の延長16回表、一死満塁から3点を奪い前年の雪辱を果たし国体初優勝。

全国大会が明石公園球場に変更された昭和五十六年、この年は自分が監督した中で最強のチームだったと今でも思っているが、全国大会一回戦でホームラン一本のために敗退。

その敗戦をバネに翌年昭和五十七年は四年連続5回目の全国大会。悪戦苦闘の連続だったが決勝戦9回裏の土壇場で同点に持ち込み、延長13回、執念が実って念願の真紅の大優勝旗を手にすることができた。

その後も昭和五十八年から3年連続で全国大会ベスト4。試合に勝つ方法を質問されたことがあるそうだが「私はいい生徒に恵まれていたのですよ」と答えたという小玉先生の言葉が印象に残る。

栃木国体優勝の時には校庭の記念碑の後ろにトチノキを記念植樹。全国大会優勝の時には購買近くにキンモクセイを記念植樹してもらったが、教頭として母校に赴任した平成九年にはキンモクセイは見当たらなかったと話しておられた。

先生は米内沢高校長で退職。退職一年後から三年間は山本地域振興局に勤務したが、現在は自宅近くの基幹農道沿いを尼子岩付近まで約5キロを散策するのが日課になっているという。



全国大会優勝時、ダイヤモンド付近での胸上げで舞い上がる小玉徳征監督

同窓生から

今回は、硬式野球部出身で、高校野球の監督として活躍している方々から寄稿していただきました。

恩師の言葉を胸に

武田 隆
(四十四期)



神奈川県鎌倉学園

「泣き言を言わぬ事、骨を埋める覚悟でやる事」大学卒業の時に頂いた恩師太田久監督からの高校野球指導者の心得です。その言葉を胸に三十年の時が流れました。

私は現在、神奈川の私立鎌倉学園中学高校で体育教師の傍ら高校野球の監督をしています。学校は有名な建長寺に隣接し年間を通し観光客で賑わう場所にあります。近年は中高六年一貫生の比率が高くなり、お坊ちゃんタイプの生徒が多くなりましたが、勤務した当初の学校の雰囲気や生徒の気質は能代高校に似たものがありました。自由で伸びやかな校風で校是も文武両道です。

高校野球の指導は三十年を

超えました。「いつの日か甲子園」という思いで日々鍛錬していますが、激戦区神奈川を制するのは容易ではありません。故郷で試合結果を気にかけてくれる高校時代の仲間の応援は私自身の心の支えです。今年八月には野球部長だった金谷晴隆先生が学校を訪ねて下さり激励の言葉を頂きました。有難いことです。

数年前、指導に迷いがあつた時期に届いた太田監督からの年賀状には「最後まで頑張ること」と記されていました。心中を見透かされた思いでした。おかげでこの五年間は夏の大会で八強に三度進み、何とか体裁を保っています。準優勝が一度で甲子園には手が届きませんが、四人の教え子が早慶戦に出場しプロには二人進みました。ちっぽけなことですが少しだけ誇りに思っています。

最後に能代高校のますますの発展と同窓生の皆様のご健勝を祈念いたします。

部活動の絆

納谷 聡
(五十二期)



秋田県立鷹巣農林高校

高校時代、選手でなかった

同窓会会計報告

平成19年度（平成19年9月19日より平成20年8月31日まで）

1. 経常費

収入の部

項 目	19年度予算額	19年度決算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	435,504	435,504	0	前年度より繰り越し
2 入会金	1,684,800	1,684,800	0	7,200円×234名
3 会 費	2,000,000	2,003,000	3,000	
4 寄付金	0	0	0	
5 その他	696	404,259	403,563	
合 計	4,121,000	4,527,563	406,563	

支出の部

項 目	19年度予算額	19年度決算額	比較増減	摘 要
1 会議費	250,000	274,904	24,904	総会・新年会補助、各支部会 出費費用
2 慶弔費	20,000	10,000	△ 10,000	校長見舞金
3 卒業関係費	380,000	374,460	△ 5,540	入会記念品、入会金を基金 へ(280,800円)
4 通信印刷費	2,100,000	2,249,583	149,583	松陵発送、案内はがき、新聞 広告
5 事務費	40,000	9,009	△ 30,991	金庫・式辞用紙
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	280,000	140,464	△ 139,536	HP利用料等
8 基 金	0	0	0	
9 予備費	51,000	0	△ 51,000	
合 計	4,121,000	4,088,420	△ 62,880	

《差引残高》

収入 支出 差引残高
4,527,563 - 4,088,420 = 469,143

II. 基 金

種 類	平成19年度	平成20年度	摘 要
		預金額 貸付額	
1 秋田銀行積立	29,784,872	30,133,958	20年度預金額は入会金280,800 円(1,200×234名)と解約時利息 68,286円を含む
2 秋田銀行定期	6,760,720	887,299	20年度預金額は解約時利息 6,579円を含む
3 秋田銀行定期	1,000,000	1,002,065	20年度預金額は解約時利息 2,065円を含む
合 計	37,545,592	32,023,322	5,880,000
基金総額	37,545,592	37,903,322	

同窓会経常費予算

平成20年度

(1) 収 入

項 目	20年度予算額	19年度予算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	469,143	435,504	33,639	
2 入会金	1,634,400	1,684,800	△ 50,400	7,200円×227名
3 会 費	2,000,000	2,000,000	0	
4 寄付金	0	0	0	
5 その他	457	696	△ 239	預金利息など
合 計	4,104,000	4,121,000	-17,000	

(2) 支 出

項 目	20年度予算額	19年度予算額	比較増減	摘 要
1 会議費	280,000	250,000	30,000	総会等補助、各支部会出費 費用
2 慶弔費	20,000	20,000	0	電報
3 卒業関係費	380,000	380,000	0	入会記念品、入会金の一部を 基金へ
4 通信印刷費	2,200,000	2,100,000	100,000	会報印刷・発送費、はがき、 新聞広告
5 事務費	40,000	40,000	0	事務用品、事務局員手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	160,000	280,000	△ 120,000	インターネット利用料 H P利用料
8 予備費	24,000	51,000	△ 27,000	
合 計	4,104,000	4,121,000	-17,000	

自分が今の立場にいることは想像すら出来なかった。現在、監督になって十七年目を迎える。若い頃は無鉄砲でトラブルも多々あったが、様々な人達からたくさんのお話を教わることができた。

最近、生徒達を見ていて、上下関係の希薄さを感じる。正直なところ現役時代は、監督以上に先輩が恐かったが、その厳しさの中で色々なことを教わり、助けられた。それが伝統を築く重要な要素であり、知らず知らずに成長出来ていたのだろう。当時は辛か



高校野球

袴田 智毅

秋田県立大館工業高校
(六十一期)

幼い頃、父に連れられて行

ったが、いい時代だったのではないか。

毎年夏の大会になると一つの先輩（一番怒られ、殴られた方）から必ず差し入れが届く。先輩の厳しさのおかげで今の自分がある。今も野球が出来ることが大変幸せに思っている、その礎を築いてくれた母校に感謝している。

った能代公園近くの市民球場が高校野球との出会いである。アイボリー地にオレンジのラインの入ったユニフォームが、テレビで見ている巨人軍のそれと重なり、憧れを抱いた。暗くなるまで近所の空き地で三角ベースやキャッチボールをしたり、ランドセルを持たずグロブだけを持って登校し、よく母に呆れられた。朝から晩までボールを追いかけて、野球が生活の中心になって三十年近くになるが、生活は少しも変わっていない。七歳の娘は、父が『学

校の先生』であり、「野球が仕事ではなく、授業をして給料をもらっているらしい」と認識してきた様だが、五歳の息子と三歳の娘は、父親は学校に『野球遊び』をしに行っているという勘違いしている。

近年、母校との対戦では連敗中であり、目標とするところ（全国で勝てるチーム作り）へは未だ到達していないが、『技の巧拙にあらず、勝敗にあらず』高校野球は試合にのぞんで自らの持てる力を十分発揮できるよう、ひたむきに日々の練習に取り組む姿勢

平成20年3月卒業生		進路状況一覧		
生徒数		男	女	計
		120	114	234
大学	国公立	68	47	115
	私立	36	47	83
短大	国公立	1	1	2
	私立	0	3	3
専修・各種学校		3	8	11
就 職		3	3	6
その他		9	5	14

に尊さがあり、野球を通じて立派な人間の形成を唯一の目的としている』という学生野球憲章を胸に、秋田県高校野球界の発展のために与えられた役割を果たしていきたいと思う。

今年もプラザ都会を会場に開催

昨年までは料亭「金勇」で開催されるのが恒例となっておりましたが、本紙一面の同窓会長のことばにもあるように、「金勇」の閉業にともなうての会場変更です。八月一日の役員会で、今年度の会場を、総会は「プラザ都」、新年祝賀会（21年1月23日）を「平安閣」で行うことを決定しております。



会次第に従つて最初に故人への黙祷を捧げ、田中仁純会長(25期)、山本達行校長(39期)のあいさつのあと議事に入り、会務報告、会計決算報告がなされ、平成二十年度予算案、事務局開設に伴う会則の改訂についての提案があり、それぞれ承認されました。

議事の中で、事務局員に対しガソリン代程度の謝礼を支

払ってはどうかとの提案があり承認されました。また収入の部の「その他」の金額が大きいことについての質問があり、事務局から内容についての説明がありました。

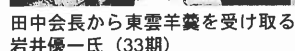
本年度は役員改選の年に当たり、選考委員会から新役員の推薦があり、別表のとおり承認されました。

懇親会は当番幹事三十八期の伊藤洋文氏の進行で行われました。校歌斉唱の後、来賓

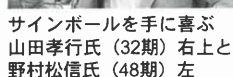
宴会の中
で参加数の
多かった期
(29期、33期、
48期)の方
々に恒例の
東雲羊羹が
贈られた。



田中会長から東雲羊羹を受け取る
岩井優氏(23期)



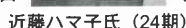
また新年祝賀会に引き続き、今回も抽選により5名の方々に山田久志投手のサインボールが贈られた。



監 査	副 会 長	顧 問	同窓会 新役員
泉袴大塚柴飯山佐畠工柴続浅田佐々木	田中	嘉仁	(2021年度)
牧俊昇恵寛誠孝浩良茂			
子英一子彦悦行嗣宣郁隆美純満			
(48期)	(47期)	(23期)	(42期)
(37期)	(35期)	(32期)	(30期)
(30期)	(24期)	(21期)	(17期)
(25期)	(15期)		

会報発行が年1回のため総会報告が中心になり新年祝賀会の内容が紹介されることは少ないが、平成20年1月25日の新年祝賀会では新企画が披露された。

それは能代
球場の愛称が
「山田久志サ
ブマリンスター
ジアム」と命名
されたことを記念したサイン
ボール。



今回は抽選で5名に贈られた。新春から幸運に恵まれた方々は佐藤崇史氏(37期)、佐々木宏氏(42期)、金谷久弥氏(42期)、熊谷誠廣氏(33期)、近藤ハマ子氏(24期)。

【来賓】齊藤滋宜【21期】谷内成治、統隆【24期】山縣輝輔、金谷晴隆、齊藤伸哉、竹内宏、柴田郁【25期】田中仁純、菊地功、落合士郎、石井清【26期】竹内堯、青山正道、小笠原久治、佐藤満、【27期】神馬郁朗【29期】清野宏隆、太田勝治、関根市男、石川正順、白坂祥三、齊藤憲身、浅野祐一、五十嵐正、山田久幸、登藤富春、塚本祝永、佐藤真一【30期】畠山良子、豊田敬夫、工藤茂宣、佐藤浩嗣、佐々木絢子【31期】高松和夫、板倉紘一郎、清水祐輔、高橋敏章、関戸實【32期】高橋宏、山田孝行【33期】宮川孝一、柴田博政、大高孝雄、山崎正規、岩井優一、熊谷誠廣、小林勝平、八木正也【35期】中田潤、飯坂誠悦、松谷健【36期】今立孜、相澤順一【37期】柴田寛彦【38期】淳城英夫、能登彰、中村栄喜、伊藤明、伊藤洋文【39期】塚本吉久、山本達行【41期】青柳市雄【42期】塚本恵子、金谷久弥、庄内豊【45期】西村省一、加藤成、後藤健、近藤英隆【48期】野村松信、熊谷秀昭、鈴木真人、小林真、越前由高、松野睦、井上智雄、袴田佳宏【50期】太田研【53期】荒川正明【57期】虻川直樹

平成二十年
部活動大会結果

今年度も能代高校では文武両道の達成を目指して各分野で活躍を示しました。今年度の運動部・文化部の活動状況の概略をご報告します。

インターハイ

【体操部】

男子団体 28位
男子個人

30位 平元拓翔(3年)

【柔道部】

男子個人 一〇〇kg超級
ベスト16 信太耀介(3年)

【陸上競技部】

女子走幅跳 船山美智子(2年)
予選出場

国民体育大会

【体操部】

団体総合 21位
陸上競技部

女子走幅跳

予選出場 船山美智子(2年)

世界大会

【無線部】

2008 ARDF世界選手権
23位 佐藤有早(2年)
24位 佐々木詩穂(2年)

全国大会

【美術部】

全国高校総合文化祭
文化連盟賞 山崎友(3年)

【放送部】

NHK杯全国放送コンテスト出場
船山実里・秋林萩乃・平山翠利
(3人ととも3年)

全国高校総合文化祭出場
秋林萩乃(3年)

【無線部】

全国高校ARDF競技大会

1位 佐々木詩穂(2年)

2位 佐藤有早(2年)

3位 藤田 舞(1年)

4位 田代瑞葉(1年)

全日本ARDF競技大会出場
学校対抗5位入賞 佐々木詩穂(2年)

佐藤有早(2年)

藤田 舞(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

田代瑞葉(1年)

支部だより

東京同窓会

淡路 和子
(五十五期)

東京同窓会の平成二十年
度総会・懇親会は十月四日にア
ルカディア市ヶ谷にて開催さ
れました。来賓を含めて約一
三〇名の参加があり、今年も
盛大な会となりました。母校
からは山本校長先生にご出席
たまわり、誠にありがとうございました。

講演会には、JA秋田やま
もとでJANビニAnnAn
の開店・運営に尽力されてご
活躍中の泉牧子さん(四十八
期)を講師にお招きました。
テーマは「JANビニ立ち上
げの裏話」本日は怖い食の
話。食物の問題がとりざた
されている昨今ですが、食の
安全に取り組み頼もしい同窓
生のお話に、みな熱心に耳を
傾けていました。

続いて、尺八奏者の金野鈴
道さん(三十八期)に出演し
ていただき、その演奏に圧倒

されました。例年どおり加藤
和海さん(三十六期)も飛び
入りでギターの弾き語りを披
露してくださいました。

今年は七十七、七十八期と
いった若い世代の参加者や、
初参加の同窓生も多く、たい
へんうれしいことでした。新
卒の同窓生から「僕らが同窓
会を盛り立てていく！」とい
う宣言があり、今後の同窓会
活動にも期待しております。

総会以外でも、幹事会で意
見を出しあったり、会報で近
況を報告しあったり、同好会
で親睦を深めたり、同窓会を
楽しむ形も増えています。

また、東京同窓会のホーム
ページ・アドレスが八月末よ
り新しくなりました。掲示板
やブログなど、東京以外の同



窓生にも参加していただいて
盛り上がりつつありますので、
どうぞお訪ねください。
<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

秋田支部

会長 加賀 勝己
(三十期)

同窓会秋田支部の総会は、
平成二十年十月十七日午後六
時から秋田市山王にある「ふ
きみ会館」で開催しました。

例年参加者が減少していま
したが今年は七十四名と久し
ぶりに増加し安堵したところ
です。同窓会本部からは飯坂
誠悦副会長、学校からは山本
達行校長先生にご出席いただ
きました。久し振りに母校の
近況を聞き、歳をとればとる
ほど母校を懐かしく思ひ出し
ました。

今回の総会では第四十四期
の島田洋一秋田大学医学部の
整形外科分野教授に講演を
お願いしました。演題は「高
齢者の転倒防止」ということ
で高齢になっても足腰を丈夫
にする手軽な運動を紹介され、
皆熱心に拝聴しました。秋晴
れの日参加者一同心ゆくま
で懇談に花をさかせました。

編集後記

昨年9月の総会前に同窓会事務局が設
置され広報担当5名が決定したが、広報
担当が実際に「松陵」の編集作業を行ったのは今号から。担当5
名のうち学校に勤務する同窓会員は1名。全員で相談することも
難しく、ファックスでの連絡が中心となった。

8月中旬の業者選定の入札から始まり、割付・原稿依頼・校正
終了が10月末。ようやくのこと12月1日発行に漕ぎつけた。

同窓会支部一覧 支部名に△印があるのは10月末時点で回答がないので古い可能性があります						
支部名	郵便番号	所在地(会長宅または事務局)	宛先(代表者名)	電話・fax	会長名	期
東京同窓会	143-0015	東京都大田区大森西2-15-21 大森太田印刷(有)内	東京同窓会事務局	03-3765-1779 fax03-3766-1228	太田勝治	29
秋田支部	010-0976	秋田市八橋南2-10-16 柴田・加賀法律事務所内	同窓会秋田支部 加賀勝己	018-864-2601 fax018-864-2602	加賀勝己	30
県庁能高会	010-8570	秋田市山王4丁目1-1 産業経済政策課内	県庁能高会事務局	018-860-2217 fax018-860-3868	佐藤 徹	51
北海道支部	064-0804	札幌市中央区南4条西6丁目11-2 全日ビル7F 札幌研スノーイーターズ内	事務局長 大槻政哉	011-272-3540 fax011-272-3550	支部長 菊地晃二	27
△近畿支部	594-0002	大阪府和泉市上町403-1 北信太ハウス内	堀松征記	0725-57-0321	堀松征記	27
青森支部	030-0966	青森市花園1-27-18	原田和夫	017-742-5325	原田和夫	26
大館支部	017-0844	大館市字新町10	西村銀三	0186-42-0221 fax 電話と同じ	西村銀三	14
八竜支部	018-2401	秋田県山本郡三種町鶴川字東鶴川29-5	宮田雄孝	0185-85-2862	宮田雄孝	29
鷹巣阿仁支部	018-3322	秋田県北秋田市住吉町8-27	田中三夫	0186-62-2731 fax0186-62-2757	まもなく 決定	
△琴丘町支部	018-2661	秋田県山本郡三種町上岩川小出20	山崎正博	0185-88-2034	山崎正博	23
△八森支部	018-2661	秋田県山本郡八峰町八森浜田78-3	吉田節朗	0185-77-2138	吉田節朗	15
△藤里支部	018-3203	秋田県山本郡藤里町大沢字館の下21-8	石田洋三	0185-79-1801	石田洋三	27
ニツ井支部	018-3155	能代市ニツ井町比井野54	豊沢幸夫	0185-73-2045	豊沢幸夫	20
松陵津軽会	038-2202	青森県西津軽郡深浦町岩崎字玉坂10-3	七戸 仁	0173-77-2012	七戸 仁	47